

姫路駅周辺地区における快適なまちづくり

1. はじめに

本市は、古来より兵庫県の南西部、播磨地域の中心として栄え、世界文化遺産姫路城に象徴される風格ある歴史文化都市として、近代から現代にかけては活力ある商工業都市として発展を遂げてきました。なかでも、姫路城や姫路駅を含めた本市の都心部は、播磨地域の政治・経済・文化の中心地としての役割を担ってきました。

このような背景から、平成18年3月に「姫路市都心部まちづくり構想」を策定し、「歴史を育み、賑わいと感動あふれる都心の再生」を目標に整備を進めています。特に、「姫路駅周辺地区」は、環状道路網の整備により自動車の流れを制御し、すべての人が安心して憩い、交流し、生活できる歩行者優先の快適なまちづくりを目指して整備を進めてきました。

また、平成23年3月策定の「姫路市バリアフリー基本構想」においても「JR姫路駅・山陽電鉄姫

路駅周辺地区」を重点整備地区に設定し、ユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリー化の推進に取り組んでおります。

2. 姫路駅周辺整備の推進

本市では、兵庫県、JR西日本などと連携協力しながら、JR山陽本線等連続立体交差事業、姫路駅周辺土地区画整理事業及び関連道路整備事業を一体的に進めてきた結果、平成20年12月にJR姫路駅付近の鉄道高架化が完成しました。

その後、平成25年4月に、本市が整備を進めている姫路駅北駅前広場にサンクンガーデンをオープンさせることができました。

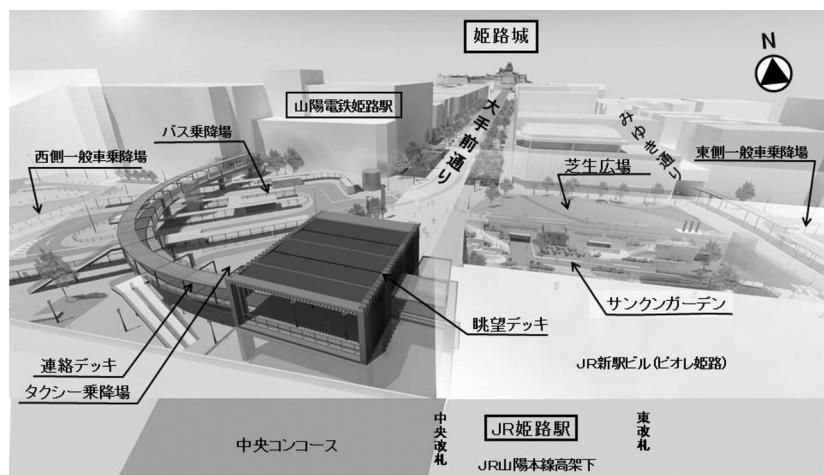
(1) サンクンガーデン

サンクンガーデンは、ピオレ姫路（駅ビルの愛称）の北側の地下1階に整備した吹き抜けの庭園で、かつて姫路城の外堀がここに存在したことから、外堀の復元を標榜して中央にせせらぎを造成し、緑をふんだんに取り入れました。また、すべての人が訪れやすいように段差をできるだけ少なくしており、エレベーターやエスカレーター、スロープも設置しています。

買い物途中に小休止される姿が多く見受けられるようになり、地上の喧騒から一段下がった癒しの空間として定着してきました。

(2) 眺望デッキ・連絡デッキ

さらに、6月にはJR姫路駅中央コンコース北側で整備を進めてきた眺望デッキと連絡デッキが完



姫路駅北駅前広場完成イメージ

姫路市長 いわ み 石見 とし かつ 利勝



成しました。眺望デッキは、姫路城を正面に望むことができ、城へ向かう門をイメージしており、デッキの後方に立つと、姫路城が額縁に入った美しい絵のように見えます。

また、連絡デッキは、JR姫路駅と山陽電鉄姫路駅を2階レベルで結ぶ通路で、道路を横断せずに行き来することができます。また、バス乗降場にも直接行くことができますので、公共交通機関の乗り継ぎが安全で便利になります。



サンクンガーデンで行われた公開結婚式の様子

(3) 大手前通りの再整備

現在、再整備を進めているJR姫路駅と姫路城をつなぐ大手前通り（十二所前線以南）は、一般車の通行を制限して、バス・タクシーなどの公共交通優先とします。車道を縮小して歩道を拡幅することで、歩行者が安全で快適に移動できるようにするとともに、将来はオープンカフェなどを開設し、姫路駅から楽しみながらお城を目指して歩いていける空間にしたいと考えております。

(4) 今後の取組み

整備が完了したサンクンガーデンやその北側に

整備を進めている芝生広場などのスペースを有効に活用して、市民や観光客が集まるイベントなどを実施していただく仕組みづくりを検討しております。

また、現在「パーク&ライド」、「サイクル&ライド」等、公共交通を基軸とする「姫路市総合交通計画」に沿って整備を進めており、今回の姫路駅周辺地区の整備は、この拠点となるものです。

公共交通を利用して多くの人が集まり、その人たちが既存の商店街や商業施設に足を伸ばし、回遊してもらうことで、中心市街地全体が活性化することを期待しております。

3. おわりに

来年1月には、姫路ゆかりの天才軍師・黒田官兵衛を主人公にしたNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が放送されます。それに併せて姫路城南側の家老屋敷跡公園内に「ひめじの黒田官兵衛大河ドラマ館」が1月12日（日）にオープンします。

ぜひ本市にお越しいただき、新しく生まれ変わりつつある姫路駅周辺の整備状況を見て、大河ドラマ館にも足を運んでいただければ幸いです。



官兵衛
イメージキャラクター



姫路城は平成27年3月に改修が完了し、白鷺城とよばれる美しい姿を現します。